



# 実感算数

---

## 到達度診断

---

4

【ホップ7・8】

氏名

---

診断日

年 月 日

---

制作：都麦出版未来事業部

著作：ピグマリオン教育研究所

所長 伊藤 恭

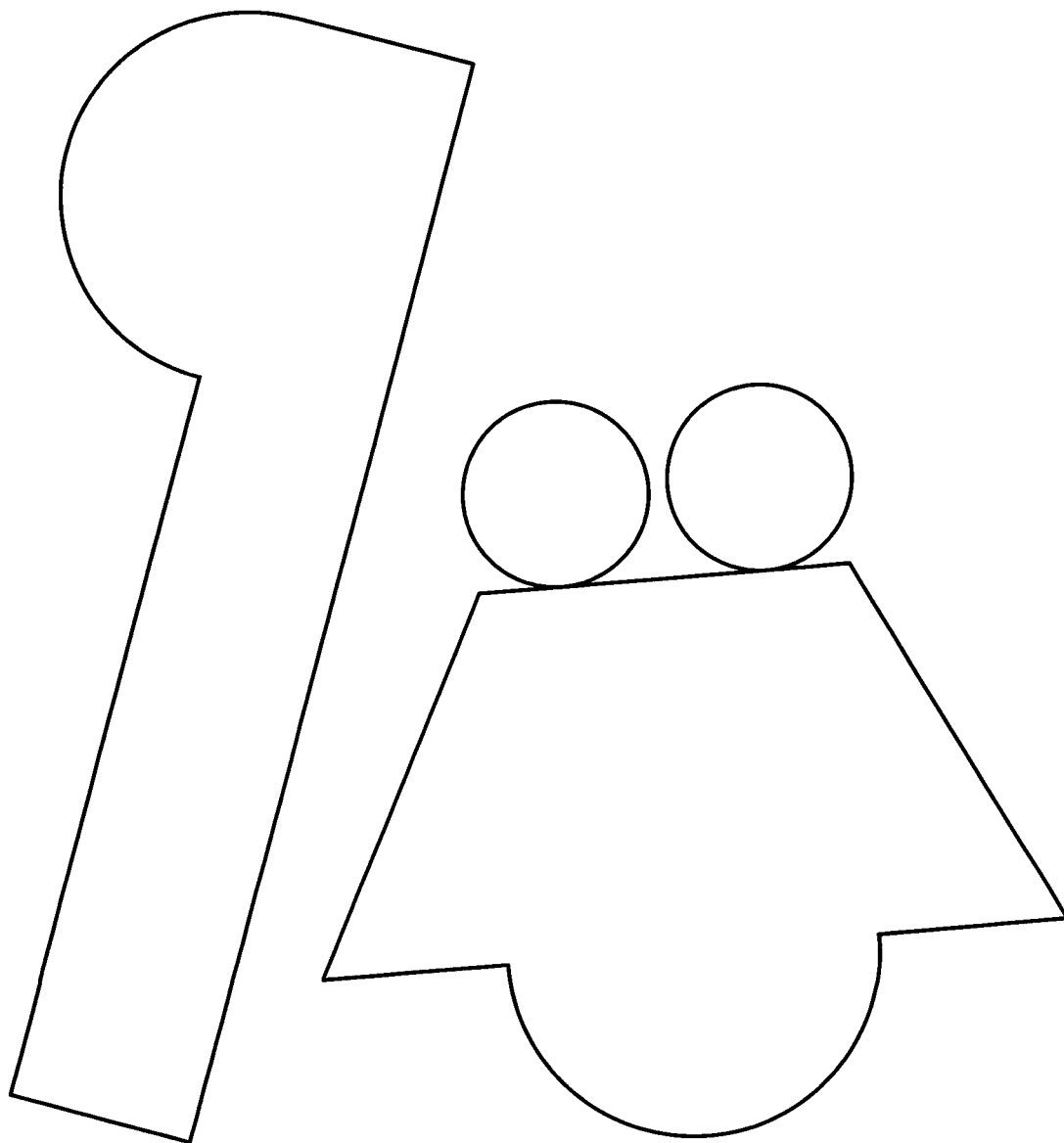
# 実施上の注意

《1～1万の加減計算を支える能力》

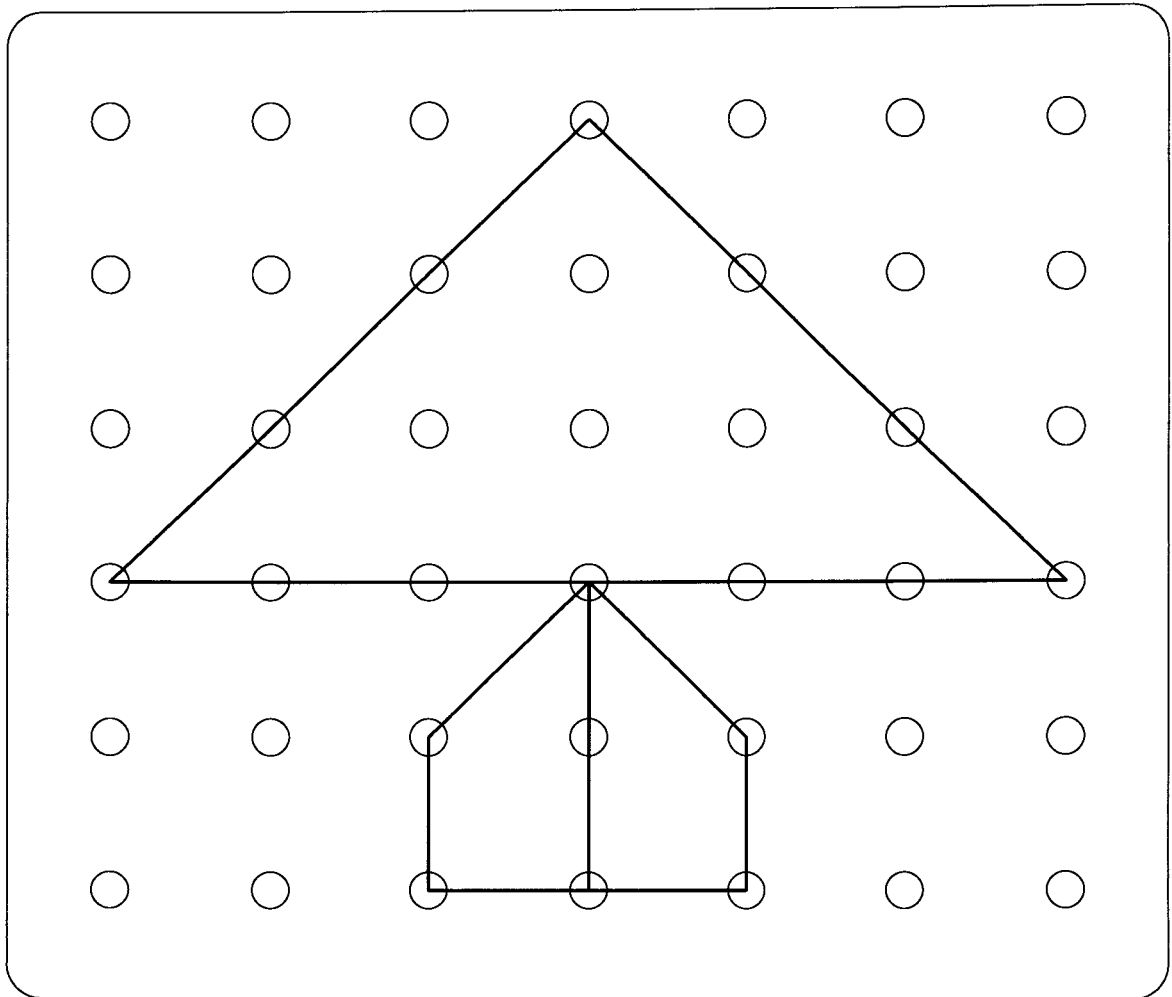
(実感算数・ホップ⑦⑧)

	教具名称	テスト時間		チェックポイント
		制限時間	結果	
図形	色板	2分		わかりやすい図形から置いているかのチェック。時間がないので、元の形に直さなくてもよい。
	ひも模様	4分		全体的に見た上で、線を作っているかという様子を見ることもチェックポイント。完成までの過程も、能力チェックのポイントです。
算数問題	計算問題 (暗算)	5分		前や後ろや真ん中の位取りを、ドット棒をイメージしながら考えて、処理しているかのチェックです。位取りを分割して部分的な処理の積み重ねとして解答しているようならば、数能力が完璧というわけにはいきません。同じことを何度か指導しないと理解できない頭でしかないでしょう。特に、(5)(7)などが、瞬時にわからなければ、1万までの数量感が育っていないと良いでしょう。育っていないと、(17)～(20)の問題を間違えることが多くなります。
	計算問題 (筆算)			筆算は、1万までの加減暗算ができていれば、何桁の筆算でも20分もあればマスターします。要するに、筆算の能力をつける最短の方法は、暗算能力をつけることなのです。
	いろいろな問題	5分		算数能力があるかどうかのチェックが、この問題でできます。この問題ができないならば、長さ・かさ・重さなどの「量と測定問題」や文章題ができません。それは、数を理解できていないからですが、それ以前に構成把握能力や合成分解能力にも欠けているからです。数能力の基本中の基本ですから、絶対にこの能力は育てる必要があります。
	文章問題	4分		能力を見るのに、とてもよい文章題です。このレベルになると式にも意味が出てきます。問題が複雑になってきて内容を整理する必要が出てくるからです。方法を暗記して当てはめるのではなく、自分の力で解こうとしているかも、これから伸びるためのチェックポイントです。
能力チェック	折り重なり図形	2分		左の絵柄の鏡絵を右側に写して解答させるようなことは、絶対させてはいけません。この問題は、左右対称の形の認知能力を問うものでもありますが、それ以上に、図形認知能力、判断力、注意力、思考力を問うものだからです。まず、右側の図柄をもっていないものを消去するなどして、問題を整理し解答させて下さい。
	点描写	4分		能力のチェックをするには、何といても、〈点描写〉が便利です。どこが良いかがわからない場合でも、どこが悪いかについてはすぐにわかるからです。2次元空間を捕らえていないと、精神という4次元世界のことなど育っているはずがありません。能力、精神、心は同じ脳的作用です。深い関連があります。
	見えない積み木の数	2分		数えたりするのではなく、数の構成から考えて、瞬時に答えを出させて下さい。空間把握能力がないと解答能力が低くなるということがわかるはずです。そのようなことを発見したら能力開発トレーニングをすることが1番の解決方法です。
	位置の記憶	2分		この問題は、記憶という名前がついていますが、記憶問題ではありません。トータルな能力をチェックするにも、トータルな能力を育てるにも使える、思考力問題です。形の名前、数、位置関係、法則性などを考えてトータルに問題を把握するのです。
合計時間		30分		

☺ おてほんのうえに いろいろを のせてください。



☺ おてほんどおりの ものを つくりましょう。



☺ つぎの けいさんを しなさい。

(1)  $230+340=$

(2)  $654+279=$

(3)  $3458+4576=$

(4)  $5526+2775=$

(5)  $3000-5=$

(6)  $7632-3269=$

(7)  $8000-5432=$

(8)  $6907-5419=$

(9) 
$$\begin{array}{r} 346 \\ +233 \\ \hline \end{array}$$

(10) 
$$\begin{array}{r} 478 \\ +238 \\ \hline \end{array}$$

(11) 
$$\begin{array}{r} 2659 \\ +3675 \\ \hline \end{array}$$

(12) 
$$\begin{array}{r} 7659 \\ +1638 \\ \hline \end{array}$$

(13) 
$$\begin{array}{r} 346 \\ -233 \\ \hline \end{array}$$

(14) 
$$\begin{array}{r} 423 \\ -238 \\ \hline \end{array}$$

(15) 
$$\begin{array}{r} 5123 \\ -2675 \\ \hline \end{array}$$

(16) 
$$\begin{array}{r} 7381 \\ -1638 \\ \hline \end{array}$$

(17) 
$$\begin{array}{r} 306 \\ -38 \\ \hline \end{array}$$

(18) 
$$\begin{array}{r} 400 \\ -2 \\ \hline \end{array}$$

(19) 
$$\begin{array}{r} 6050 \\ -1389 \\ \hline \end{array}$$

(20) 
$$\begin{array}{r} 7000 \\ -1638 \\ \hline \end{array}$$

◎ つぎの もんだいに こたえなさい。

(1) 300の はんぶんは いくつですか。 [ ]

(2) 70の 2ばいは いくつですか。 [ ]

(3) 4000より 13 ちいさい かずは [ ]

(4) 7013より 20 ちいさい かずは [ ]

(5) 356より 88 おおきい かずは [ ]

(6) 456を かんすうじで あらわすと [ ]

(7) 七千四を すうじで あらわすと [ ]

(8) 10が 34こ あつまると いくつですか。 [ ]

(9) 100が 5こと 10が 24こで いくつ [ ]

(10) 100が 32こと 10が 6こで いくつ [ ]

(11) 100が 45こと 10が 65こで いくつ [ ]

(12) 420は 10が なんこですか。 [ ]

(13) 5000は 100が なんこですか。 [ ]

(14) 3400は 10が なんこですか。 [ ]

◎ つぎの もんだいに こたえなさい。

(1) ちよきんばこには せん円さつが 3まい ひゃく円だまが 25まい 10円だまが 56まい 1円だまが 135まい ありました。ぜんぶで なん円 あるのでしょうか。

こたえ

---

(2) おはじきが ぜんぶで 350こ ありました。これを おねえさんと わたしの ふたりで わけたいと おもいます。おねえさんのほうが 50こ おおくなるように わけるとすると、わたしは、いくつもらえますか。

こたえ

---

(3) あやちゃんは おじいさんより 43さい としました。おばあさんは おじいさんより 4さい としました。あやちゃんは、おばあさんより なんさい としましたか。

こたえ

---

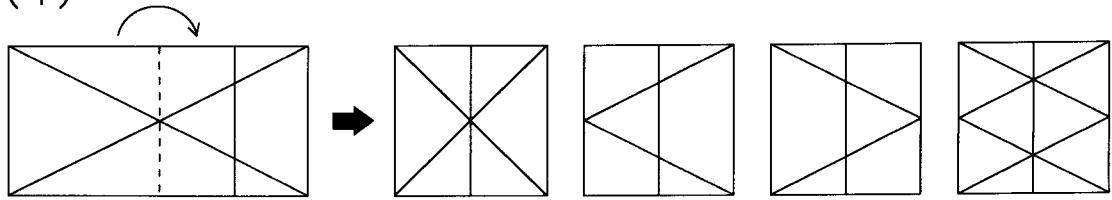
(4) 本やさんにいって 本を かいました。2100円の 本を 2さつと 735円の 本を 1さつ かいました。1まん円を だすと おつりは いくらになりますか。

こたえ

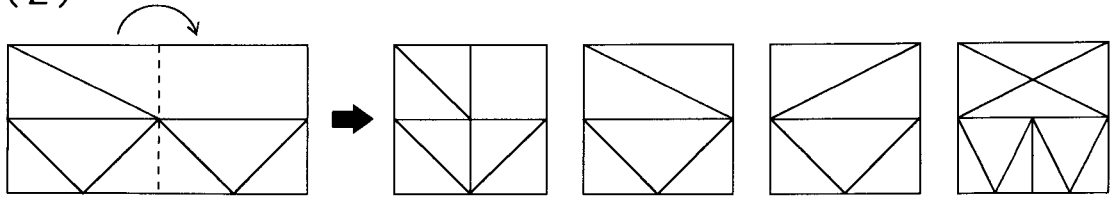
---

◎ とうめいな ビニールの上に かかれた かたちを てんせんの  
 の ところ で おりまげると、みぎの どのかたち に なりま  
 すか。ただし いと おもうもの に ○を しなさい。

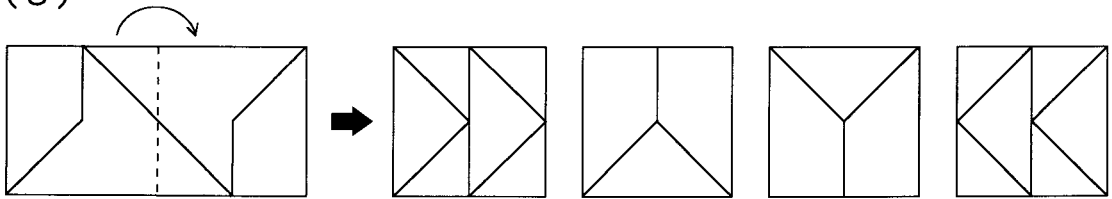
(1)



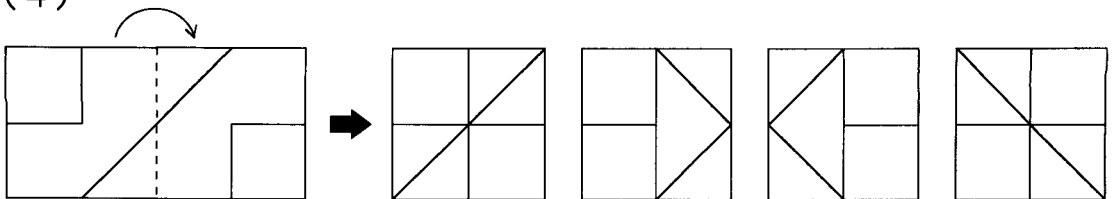
(2)



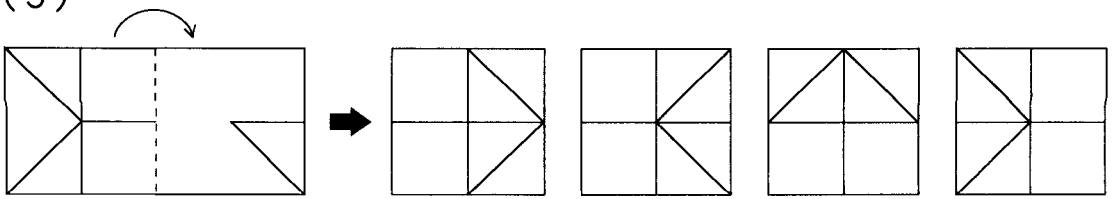
(3)



(4)

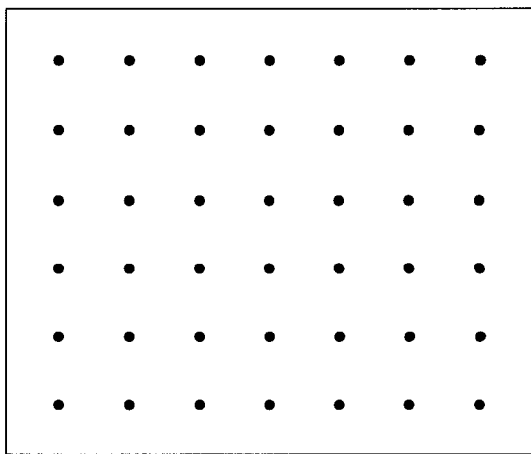
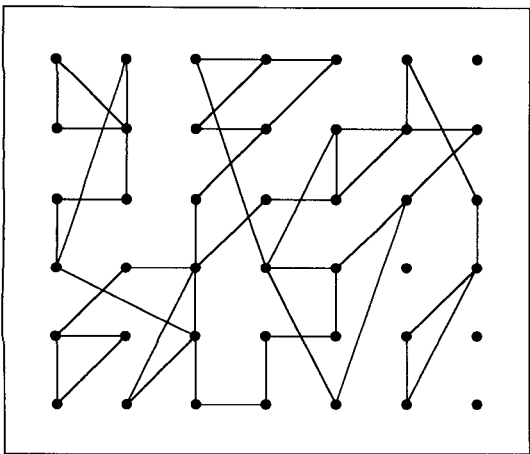
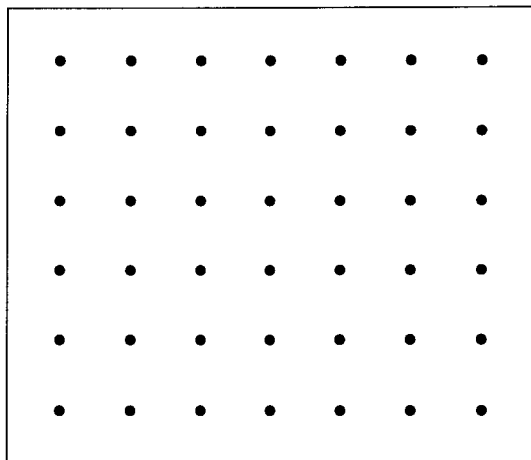
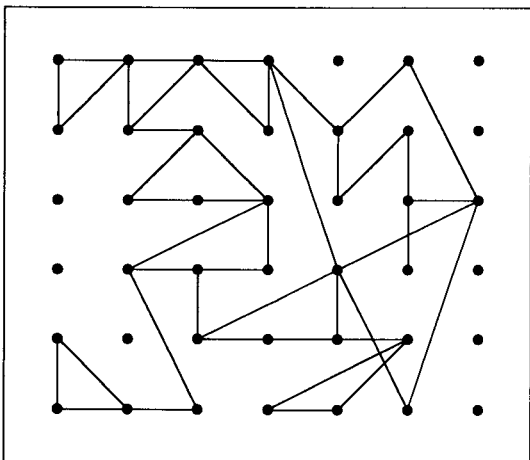
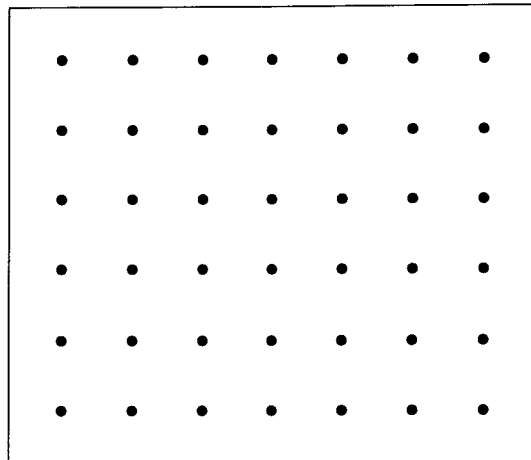
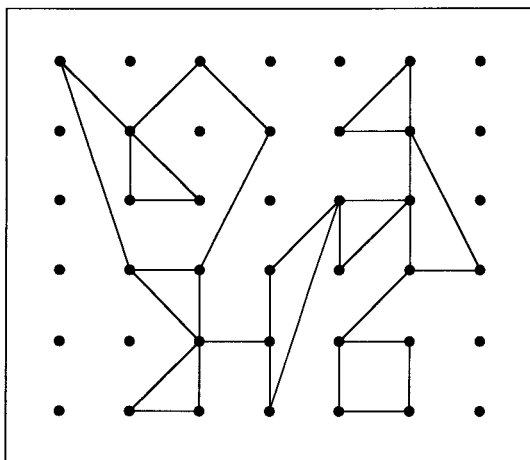


(5)



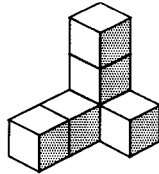


☺ てんをつないで ひだりの おてほんの かたちをかきなさい。

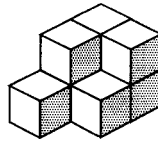


☺ みえない つみきの かずを こたえなさい。

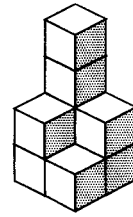
①



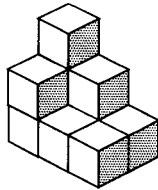

②



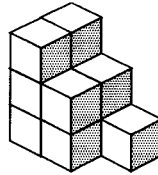

③



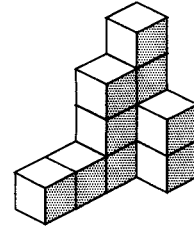

④



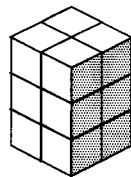

⑤



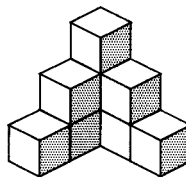

⑥



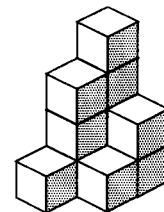

⑦



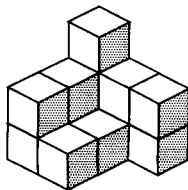

⑧



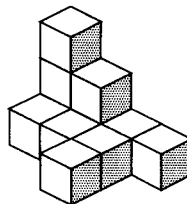

⑨



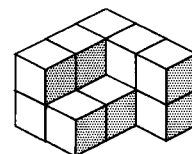

⑩



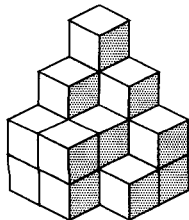

⑪



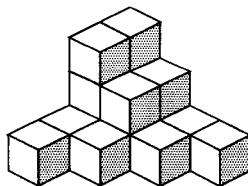

⑫



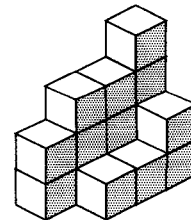

⑬




⑭

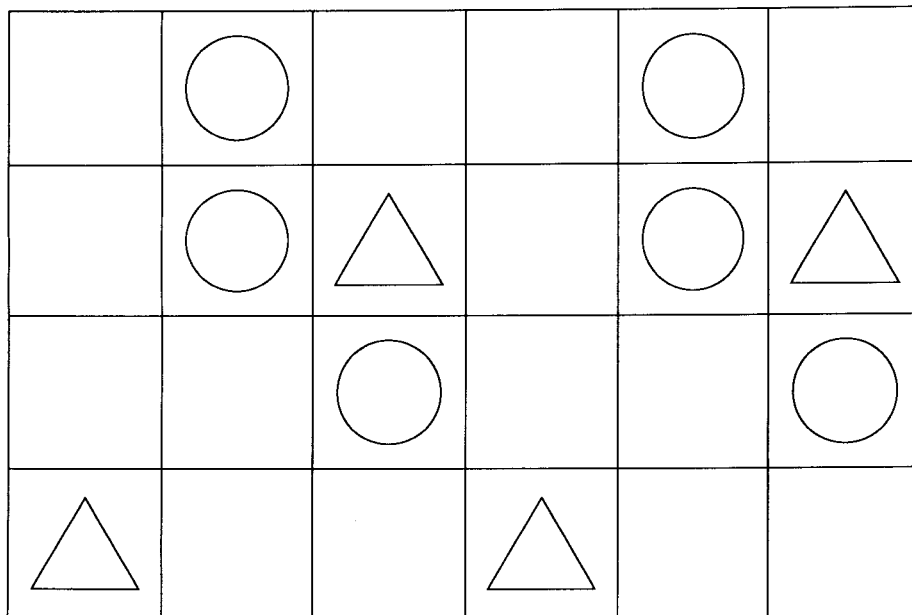



⑮

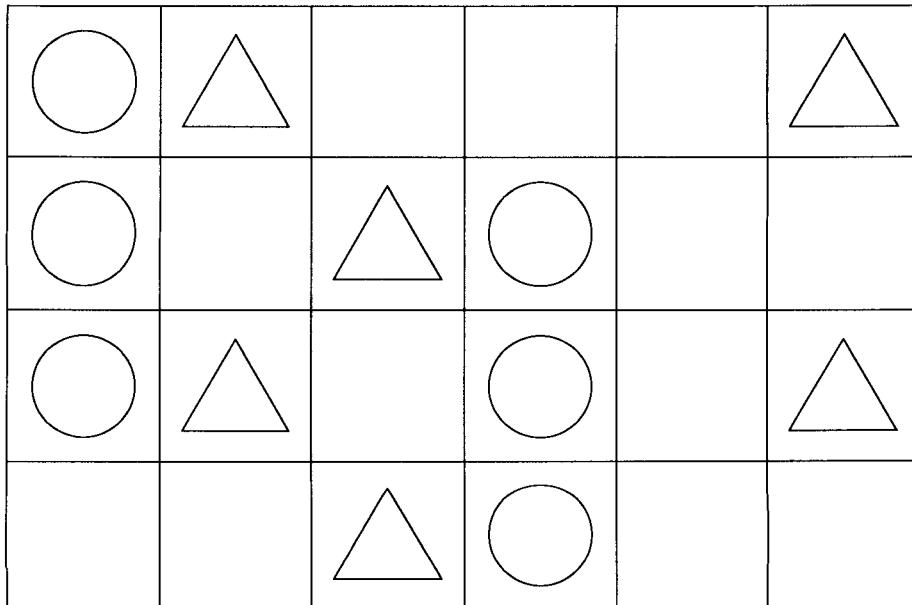


◎ ○や△が かいてある ばしょを よく おぼえておいて  
ください。

(1)



(2)



☺ ○や△が あった ばしょに ○や△を かいてください。

(1)


(2)
